

陳情

12月定例会に4件の陳情書が提出されました。

ヒバクシヤ国際署名への署名と日本政府へ核兵器禁止条約の批准を求める意見書提出のお願い

宮城県原爆被害者の会
ヒバクシヤ国際署名連絡会
宮城 代表 炭谷良夫さん

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める政府に対する意見書採択を求める陳情書の提出について

宮城県春闘共闘会議
代表幹事 高橋正行さん

介護福祉施策の充実を求める国への意見書提出に関する陳情書

NPO法人
介護・福祉サービス非営利団体ネットワークみやぎ

理事長 内館昭子さん
平成30年度税制改正に関する提言について

一般社団法人
宮城県法人会連合会
会長 菅原一博さん
ほか1人

人事

○人権擁護委員の推薦に同意

本多 究 美さん（若柳） 再任
仁木 久 恵さん（瀬峰） 再任

請願

「鳥獣被害対策に関する請願」を採択

【請願の趣旨】

野生鳥獣による農林業被害や家屋被害が全国的な問題となっている。

栗原南部および栗原北部の猟友会は、もともと多い時には350名以上の会員を有していたが、現在では、高齢化などにより3分の1まで減少している。

一方、栗原市内におけるイノシシやシカ、ツキノワグマなどは年々増加し、最近ではサルも見られるようになり、農作物への被害も増大し、耕作放棄地への拡大につながっている。

若い方々に関心を持ってもらうためにも、隊員の待遇改善と負担軽減について、以下の点について請願する

【要望事項】

- ①待遇改善について
- ②捕獲奨励金制度の新設について
- ③有害駆除したイノシシやシカ、ツキノワグマの処理について

討論

12月定例会では、次の3議案について、賛成または反対の立場で、それぞれ意見を述べました。

発議第5号 栗原市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について

反対 菅原 勇喜 議員

月額議員報酬は県内14市中5番目で年間総額でも7番目である。栗原市民一人当たり平均所得年収は平成

28年250万5499円で県内35市町村中27番目、14市中最低位の14位である。4年連続の議員期末手当引き上げは到底市民の理解は得られないと考えるものである。

賛成 三塚 東 議員

持続可能な「栗原創生」の担い手として意欲のある人や若い人が議員に立候補しやすい環境づくりが必要である。また、多様な市民の意思や意見・提言を政策として実を結ばせ、住民福祉の増進を実現することも議員に課せられた使命だ。

発議第6号 核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書について

反対 佐々木嘉郎 議員

日本が平和でひたすら経済活動を続けられるのは、日米同盟があつてこそ。日本列島はロシア・中国・朝鮮半島から干渉は避けられない位置にある。現実、米国に守られていながらの条約参加は、安全保障政策と矛盾したものになりかねない。現段階で反対だ。

賛成 佐藤 悟 議員

72年前、広島・長崎市に原爆が投下され、21万人余が死亡した唯一の被爆国で、非核3原則を堅持し、平和外交を進めて来た。市は、平成22年「核兵器廃絶平和都市宣言」を行っている。非人道的な核兵器廃絶のため、日本のリーダーシップが求められる。賛成する。

議案第147号 平成29年度栗原市一般会計補正予算（第7号）

反対 菅原 勇喜 議員

発議第5号栗原市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について反対した。本議案は同改正条例に基づいて、議会費に52万8000円増額補正されているのでその点に関して反対するものである。

12月定例会での審議結果（意見が分かれた議案について掲載しました）

| 議案氏名 | 議決結果 | 採 決 結 果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|---|
| | | 佐藤 庄喜 | 小野 久一 | 澤邊 幸浩 | 佐藤 千昭 | 佐藤 範男 | 鹿野 芳幸 | 高橋 勝男 | 高橋 義雄 | 五十嵐 勇 | 石川 正運 | 高橋 涉 | 三塚 東 | 沼倉 猛 | 高橋 将 | 佐藤 悟 | 三浦 善浩 | 菅原 勇喜 | 佐藤 文男 | 阿部 貞光 | 濁沼 一孝 | 菅原 正剛 | 佐藤 久義 | 佐藤 勇 | 佐々木嘉郎 | 相馬 勝義 | 瀬戸健治郎 | |
| 発議第5号 | 可決 | 賛 | 反 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 反 | 賛 | 反 | 賛 | 賛 | 賛 | 反 | 反 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 反 | 賛 | 賛 | 賛 | — |
| 発議第6号 | 否決 | 反 | 賛 | 反 | 反 | 反 | 反 | 賛 | 反 | 反 | 反 | 反 | 反 | 賛 | 反 | 賛 | 反 | 賛 | 賛 | 反 | 反 | 反 | 反 | 反 | 反 | 反 | 反 | — |
| 議案第147号 | 可決 | 賛 | 反 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 反 | 反 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | 賛 | — |

※ 「賛」⇒賛成した議員、「反」⇒賛成しなかった議員、「—」⇒議長のため採決に加わらない

議案審査

12月定例会に提出された補正予算や条例は、総務常任委員会、産業建設常任委員会、文教民生常任委員会のそれぞれの常任委員会に付託され議案の審査を行いました。主な質疑を掲載します。

プロモーション映像で栗原をPR

問 市のプロモーション映像制作は、どのようなイメージで作り、どう放映されるのか。

答 栗原の日常生活として、市内に住む家族と、その地域の人々の暮らしを記録したものをイメージしている。ユーチューブの栗原市公式チャンネルでPRしたい。

ホテルなどを改修くりはら交流プラザ

問 くりはら交流プラザの改修事業について、これまでの改修などの経緯はどうか。

答 これまでは、平成23年の地震の際に大規模な修繕を実施したほか、細かな修繕は毎年行っており、近年、特に修繕箇所が多くなってきている。今回の改修は、18年以上の年数



改修予定のくりはら交流プラザ

経過による設備等修繕のほか、インバウンド観光、スポーツ合宿などに幅広く活用していただくために環境整備を行うものである。

産業経済部を改編専門的な取り組みを

問 現在の産業経済部を農林振興部と商工観光部の2つの部に組織改編する理由は何か。また、人員の配置はどうなるのか。

答 今回の組織改編は、農業の分野や商工業・観光の分野の強化のために行う。これまでの取り組みをより進め、さらに市長公約による新たな取り組みを専門的に進めていく。全体の職員数が限られているので大幅な増員は見込めないが、今後、業務内容などを検討していく中で、適正な人員配置に努める。

橋りょう点検業務等の委託について

問 橋りょう点検業務等委託料1000万円が増額されているが、対象箇所はどこか。また、現在市が管理する橋りょうの総数と、そのうち点検済み

及び今後の点検計画はどうなっているか。

答 今回の補正で若柳地区の北谷地橋と郡界橋及び瀬峰地区の樋渡橋の3カ所の点検業務を委託する。現在市が管理する橋は851橋あり、平成28年度までに683橋の点検を行った。また、点検計画の作成は、平成29年度に345橋、平成30年度に41橋を予定している。

下水道事業特別会計の工事請負費の増額について

問 下水道事業費の工事請負費がこの時期に1億1450万円の増額計上された理由は何か。

答 補助対象となった補填及び賠償金、2款の施設管理費でそれぞれ請負差金が生じた。このため、工事請負費に予算を組み替え、現在工事の計画がある箇所の事業の進捗を図るもの。

鳥獣被害対策実施隊の謝礼等について

問 鳥獣被害対策実施隊の費用弁償及び謝礼が増額計上されているが、



点検業務を行う瀬峰地区樋渡（ひわたし）橋

対象地区と算定根拠はどうなっているか。

答 有害鳥獣の出没・捕獲件数が多い栗駒、金成、一迫及び花山の4地区を対象とするもので、1月から3月の間に実施隊員3名体制でイノシシの捕獲を集中的に行うもの。

校舎工事・改修内容は

問 旧長崎小学校体育館電源切替等工事の内容は。

答 校舎が雨漏りにより配電盤から漏電し危険であり、校舎を経由せずに体育館に直接電気を送るための切替工事である。

併せて、自動火災報知設備の操作盤が校舎に設置されていることから、体育館に移設する工事である。

問 瀬峰中学校の校舎修繕と屋外整備は、中学校側の意見は全て反映されているのか。

答 今回の改修は、学級校再編に伴い開校までに最低限必要な施設修繕であり、今回の修繕以外にも外壁や屋上の防水などの改修もあるが、それらを含めると開校まで間に合わないことから、大きな修繕は、第2次総合計画の中で大規模改修の予定があることから、そちらで対応していきたい。